

## 第23回 塾（前編）



今回は、塾をめぐるわが家のドタバタを取り上げます。

トップバッターは団塊世代の最後尾に属する私たちです。

私たちは昭和30年代から40年代を小中学生として過ごしました。私の幼少期については折に触れてコラムに書きましたが、まあ一言で言えば「野に放たれ、自由に遊び回る子犬」でした。夫も同じでした。当時、塾はほとんど見かけませんでした。中学受験で塾に通う友達がいるとか人伝に聞いたことがあったけど、「なんのこっちゃ？」でした。高校受験や大学受験は重要だとは思っていましたが、現在の受験戦争に比べると、ほのぼのとしたものでした。私たちの同級生には就職する仲間も沢山いました。実際、私たちの高校進学率は70%ぐらいで、大学進学率は15%ぐらいでした。ということで、最近叫ばれている「高校無償化には塾代も含めるべし！」は私たちにはピンときません。今時の子供たちの学びの場は学校だけではなく塾もあるなんて、かわいそうだと思うだけです。

夫の祖父は小学校卒業で逓信省（戦後の郵政省、現総務省）に勤めたので、当然、係長止まり。祖父の3人の息子にはともかく東大に入れと号令し、祖父の長男である夫の父は、部屋に山と積まれた受験用の本に押しつぶされたそうです。その反動からか、夫は「勉強せい！」と親から言われることなく、のびのびと、真っ黒に日焼けして子供時代を過ごしました。祖父母の時代は家父長制度全盛で、「長男ファースト」の時代でした。次男坊の私の父は親からあれこれ注文されることなく育ったせいか、私に勉強しろとは言いませんでした。ですから、私たちは、自分たちの上の二人の子供たちには、ちょっと格好をつけて、「親の仕事は金稼ぎ、子供の仕事は勉強じゃ」と言ったりはしましたが、下の二人には何も言わなくなっていました。



わが家は共稼ぎだったので、ともかく子供の面倒を見る時間の余裕がありませんでした。

「親は元気で留守がよい」が子供たちから見たわが家のモットーだったのでしょね。

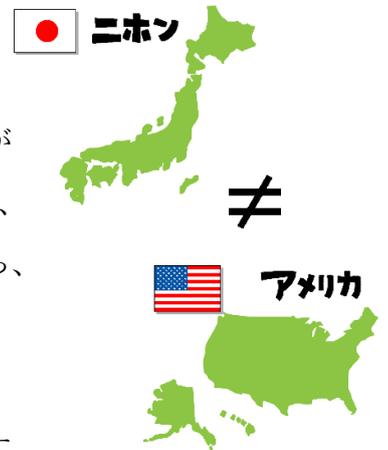
そんななか、「塾に行きたい」と言い出したのが一番下の子で、中学3年生の時でした。三番目の子が荒れ

まくった中学校に通って大変な目にあっていたので、一番下の子のために、孟母三遷の教えよろしく、名聲の高い公立中学のある隣町に引っ越したのです。「塾に行きたい」には「はあ？」でした。

「なんで？」と問うと、「中学校の勉強が全然わからへん」、「それで?」、「個別指導というのがある、落ちこぼれの子2, 3人を相手に手取り足取り教えてくれる塾がある」というので、通いはじめました。結構楽しそうで、先生のことを〇〇ちゃんと親しげに呼んでいました。ところがある日、その〇〇ちゃんから「あなたのお父さんは偉い先生なんですよ」と言われたそうで、家に帰って、「お父さんは偉いの?」と聞かれました。なんと、その先生は夫の勤務先の大学院の学生でした。彼は、その後、アメリカのワシントンDCの公的機関で研究員となり、奥さんを見つけて、夫婦そろって大学に戻ってきて、夫と再会できました。現在では立派な大学の先生ですが、うちでは今でも〇〇ちゃんと呼んでいます。

孫たちはこんな子供たちに育てられたからか、塾には縁遠かったみたいです。といっても、1番上の長男はアメリカ生活が長いので、もちろん、その子供たちは塾とは無縁です。

そもそもアメリカには塾がありません。アメリカ滞在の日本人子弟は、日本語の勉強のために週に1回ぐらい補習学校に通うのが普通らしいのですが（アメリカに行っても日本人ですね）、補習学校は大都会にしかないようで、長男の子供たちは塾を免れ「セーフ！」でした。長男の奥さんがもっぱら、二人の子に日本語を教えてくれたようです。



2番目の次男の家も、どうやら塾とは縁遠いみたいで、上の二人の孫たちは、大学受験に揃って失敗したあと、浪人中でも予備校にも通わなかったようです。

学校に通わないと、朝起きないとか生活のリズムが崩れるから予備校に行った方がいいんじゃない、と私らが勧めたのですが、結局、宅浪でも何とかなつたみたいです。1番下の次女の子供はまだ3歳なので、これからどうなるのかわかりません。やっぱり個別指導に行くのかな？

\*\*\*\*\*

最後は3番目の長女の登壇です。この孫たちは、現在、中学2年と1年生の3人。小学校をまるまるアメリカで育て、3年前に日本に帰ってきたところです。基本的に学校以外では何の勉強もしないアメリカから、学校より塾の方が重要な教育機関という日本に帰ってきて、はたして、どうなったのか？

そして、日本で育ちながら、日本の学校システムに全くついていけず、学年でブービーというわが家のギネス記録保持者の長女が、この事態に出会って、どんな対応をしたのか？



おーっと、丁度時間となりました。この続きは後編で。